

冬号

第159号

財団法人 山梨県交通安全協会

財団法人 山梨県交通安全協会各支部

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL(055)-280-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂847
(ホームページ http://www.yin.or.jp/user/ankyou/)

- | | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鰍沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 笛吹交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県バス協会
山梨県二輪車安全普及協会

社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
社団法人・山梨県建設業協会



運転は人に社会に思いやり

年末の交通事故防止県民運動

12月1日から31日



安協役員や内船歌舞伎保存会の役者らが交通安全を呼びかけた

＝南部町福士の国道52号

交通安全カレンダー

- 12月1日～31日 年末の交通事故防止県民運動
- 平成19年
- 2月 交通安全推進県民大会
- 4月(または5月) 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全文字供自転車山梨県大会
- 9月 二輪車安全運転山梨県大会
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会

年末の交通事故防止県民運動は十二月一日から同三十一日までの三十一日間実施されます。この時期は忘年会などで飲酒の機会が多くなることから交通事故の多発が心配されます。「飲んだら乗るな」「乗るなら飲むな」を心に秘め、事故防止に努めて下さい。また交通量の増加に伴い道路が混雑するほか、心理的な慌ただしさも加わり注意が散漫になりがちです。

「運転は人に社会に思いやり」のスローガンのもと、高齢者や子どもの事故防止や飲酒運転などの悪質・危険な運転の追放、シートベルト・チャイルドシートの着用、早めのライトの点灯などに心がけましょう。

山梨県交通安全協会では関係団体と連携して交通安全の大切さを呼びかけます。

内容紹介

- 2面 県警、「飲酒運転」撲滅へ全力 交通死亡事故抑止に協力訴え
- 3、4、5、6面 各地区安協の活動
- 7面 中学生交通安全弁論大会 交通安全高齢者自転車大会
- 8面 協賛団体の交通安全情報

交差点

▼運転免許を持っていてアルコール依存患者の約半数が、飲酒運転の罰則が強化された二〇〇二年の改正道交法施行後も飲酒運転を続けていたことが今年十一月関西アルコール関連問題学会の調査で分かった。比較調査した依存症ではない一般の人の約八割が、改正後に飲酒運転をやめたと対照的。同学会などは「厳罰化だけでは飲酒運転は防げない。交通違反者は依存症かどうかを判定し、治療や予防教育など別の対策を取ることが必要だ」と指摘している。

▼山梨県交通安全協会では、飲酒運転をしないさせないを合言葉に、年末をひかえ、飲酒運転撲滅をスローガンに「飲酒運転撲滅キャンペーン」を県民と一体となって展開している。

飲酒運転撲滅へ

悲惨さ、あらためて胸に

今年八月、福岡市職員の飲酒運転事故によって幼児三人が死亡する痛ましい事故が発生しました。その後も飲酒運転が原因による事故は後を絶たず、飲酒運転追放のキャン



飲酒運転が原因の交通事故

ペーンが全国規模で展開されています。山梨県内でも県警本部、各警察署が取締りを強化。各地区安協など交通関係団体と連携を強くしながら、飲酒運転撲滅宣言や啓発活動が活発に行われています。県民一人ひとりが飲酒運転がまねく交通事故の悲惨さをあらためて胸に刻んでほしいものです。

飲酒運転の落とし穴

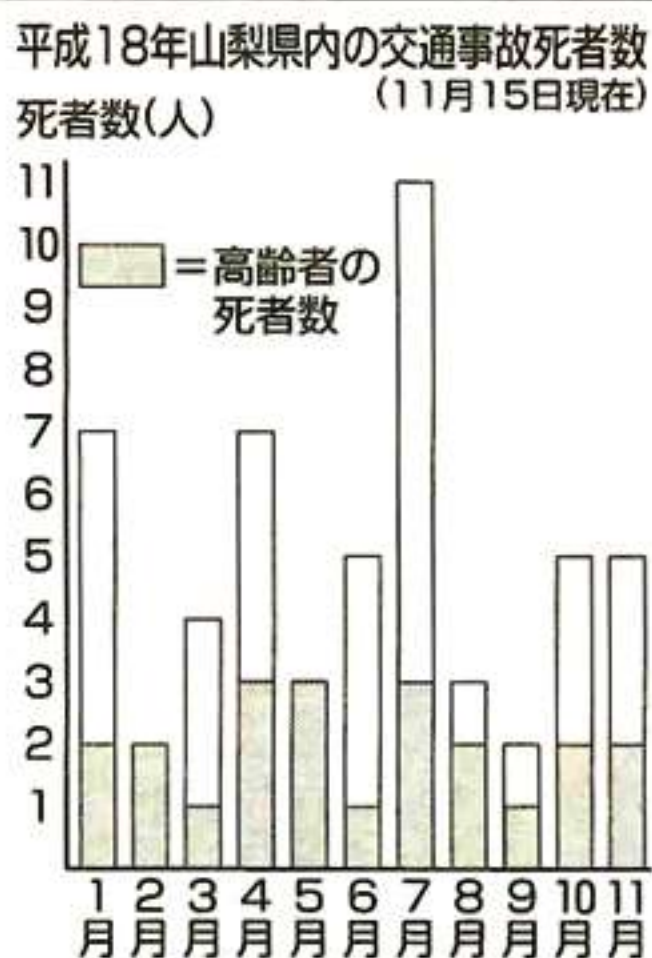
●たった一杯でも...
「乾杯の一杯くらいなら飲酒運転にならない...」と考えるドライバーもいます。アルコールの濃度が平常に戻るまでには七時間ほどかかり、飲酒の影響は思いのほか長く持続することが、多くの実験データで証明されています。

●かなりの時間をおいても...
「車内などで仮眠したり、サウナで汗を流すなどして時間をおけば酒は抜ける」と思っている人がいますが、日本酒二合の飲酒でも、血液中のアルコール濃度が平常に戻るまでには七時間ほどかかり、飲酒の影響は思いのほか長く持続することが、多くの実験データで証明されています。

遺族の悲痛な叫びが聞こえますか？

「帰ってこない時間」
飲酒運転の大型トラックがセンターラインを越え、対向してきた軽乗用車を運転していた私の22歳になる娘は正面衝突され即死でした。
私が生きている限り恨み、憎しみ続けることになった男は、その夜給料日で上司、同僚たちと居酒屋で飲み会をし、酒の勢いで会社の駐車場までマイカーで行き、会社のトラックを乗り出して自宅へと向かっているところでした。この間、一緒に飲んだ中の誰も注意しなかったそうです。
娘は会社でも明るく優しい頑張り屋で、上司や同僚に親しまれていました。第二の人生のスタートとなる結婚も控えており、まさに幸せの絶頂の時でありました。そんな娘の夢や希望、楽しみの全てを奪った加害者を許すことはできません。
酒を口に運ぶのは自分の手、よし悪しを判断するのは自分の頭、酒を飲み運転することを自分で決めて尊い命を奪ったのだから、減刑を求めるのではなく、命をもって償ってほしい。

交通死亡事故多発 年末へ警戒



4割以上が高齢者 交通マナー遵守を

今年八月から十月までの三カ月連続して減少していた交通死亡事故が、十一月に入り急増しています。同月七日から六日間で五件の交通死亡事故が発生しています。
年末の慌ただしい時期を迎え、交通量も一段と増加するため、交通死亡事故などの重

山梨県警察 交通部から

重大事故の多発が懸念されています。ドライバーはもちろん、歩行者も交通マナーを実践することにより、交通事故防止に努めましょう。



飲酒運転撲滅キャンペーン

「八十八万人飲酒運転撲滅川柳募集」入賞作品決定

山梨県交通安全協会では、飲酒運転撲滅運動を盛り上げるため見出しのキャンペーンを実施した結果、九百五十一人の方から二千六百四十三句の応募をいただき、山梨県川柳協会会長、副会長の皆さんによる厳正な審査の結果、入賞作品を次の通り決定しました。
応募いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、これを機に飲酒運転撲滅の機運が一層高まることを願っております。皆様の変わらぬご理解、ご協力をお願いします。

ぼくの誇り 飲酒運転しないパパ

甲斐市 手塚教子

【最優秀作品】

【佳作】

- 凶器にはさせぬ愛車へ酒を断ち
酔いどれのハンドルが向く地獄
飲むなら乗っちゃし車は命取り
ハンドルを持つ身乾杯するジュース
バックも飲酒運転許すまじ
たかが酒乗れば凶器に早替り
青い夢摘んでしまった酒の罪
ほろ酔いに迎える妻の愛メール
ハンドルは持たぬ覚悟の祝い酒
これしきの酒とあなごる落し穴
居酒屋へ妻がお抱かえ運転手
飲酒運転罪と罰と同居する
深酒のあしたハンドルまだ凶器
運転をしなければ陽気な酒で済み
ちよと一杯これで人生捨てますか
酔ってない自己判断が命取り
飲酒して乗るでないぞと叱る月
一杯の酒に呑まれた免許証
一度しか無い人生を潰す酒
飲み会へキーはお家でお留守番
- 市川三郷町 有泉 國男
甲斐市 橋本亜沙子
甲斐市 上田 舟水
甲斐市 田口 友正
甲斐市 立川 和男
増穂町 深沢 二三
甲斐市 帯金 孝子
山梨市 武井 寿幸
北杜市 清田 芳彦
笛吹市 古屋富子
山梨市 田辺 徳江
甲斐市 小宮山 博
笛吹市 浅川和多留
南アルプス市 畑田 柳子
甲斐市 小林信二郎
甲斐市 渡辺 寛次
甲斐市 山宮ヒロ子
山梨市 窪川きつき
増穂町 鮫田 黎明
甲斐市 風間 和子
(敬称略)

【優秀作品】

飲まず乗り 大事な命 持ち帰る

甲斐市 武田 清貴

検問も笑顔で交わす 澄んだ息

市川三郷町 村松 清美

支協から

上野原交通安全協会は、県の最東部に位置する上野原市、小菅村、丹波山村の1市2村を所管区域としており、東は神奈川県津久井郡、北は東京都西多摩郡に隣接し、首都圏中心部からも60〜70キロと近距離にあります。

管内には、上野原市内を東西に走る国道20号線、丹波山・小菅村地内を走る国道411号線、国道139号線のほか、市内から南北に延びる数本の県道が主要幹線道路となっており、特に国道20号線は、首都圏から山梨県への東の玄関として多くの車両が通行し、週末や行楽期には交通渋滞も発生している状況にあります。

こうした地理的状況から、管内の交通事故の特徴として、国道20号線における交通事故が全体の約3割を占めているほか、一旦市内中心部を離れますと山岳道路になることから、バイクによるツーリング中の転倒事故も多く発生して

が繰り返しております。当協会では、こうした交通事故の実態を踏まえ、「悲しい結果を生む交通事故を1件でも少なくしよう」を合い言葉に、日夜街頭活動に励んでおります。今年の主な活動としては、事故多発路線での効果を体験する参加・体験・実践型の交通安全教室を開催するなど、高齢者の交通事故防止も積極的に進めてまいりました。

このほか、飲酒運転が社会問題となる中で、上野原警察署と連携を図り、飲酒運転撲滅の広報チラシを街頭で配布するとともに、酒類提供の飲食店に対する呼びかけなど飲酒運転追放に向けた取り組みにも力を入れております。また、上野原市議会では、9月議会において「飲酒運転追放宣言」を全会一致で可決するなど、飲酒運転追

交通事故のない社会の実現を目指して

上野原交通安全協会 和田 博夫



当協会では、究極の目標である交通事故のない社会の実現を目指し、交通関係団体の先頭に立ち、積極的な活動を進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしく

交通安全運動 県内各支協の活動

伝統のはしご乗り披露 「安全運動」の垂れ幕も

○：笛吹

笛吹交通安全協会（三枝力会長）は秋の全国交通安全運動の一環として、出発式の後、JR石和温泉駅前で伝統芸能の「はしご乗り」を使った啓発イベントを行いました。



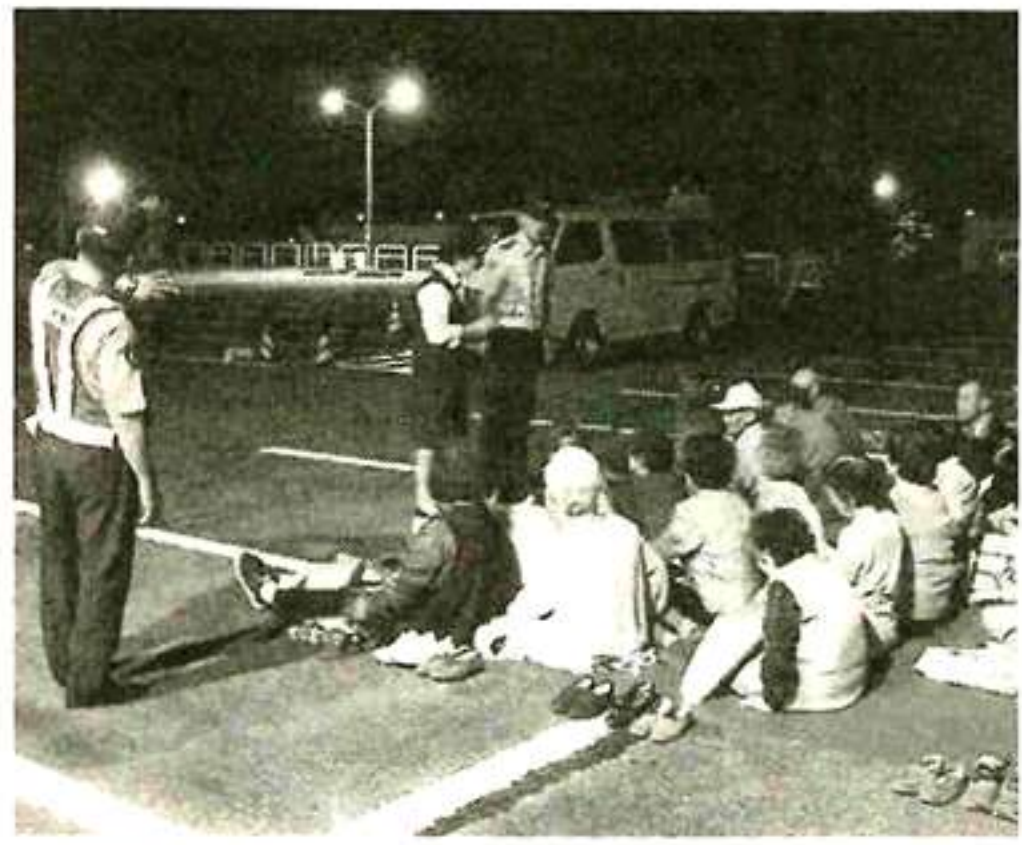
勇壮に行われたはしご乗り
JR石和温泉駅前

最上段から下ろしました。また、安協役員や交通関係団体の代表ら約七十人が駅を利用する人たちが買い物客、観光客らに啓発品を配りました。

夜間歩道の危険性 高齢者が体験学習

○：鵜沢

鵜沢交通安全協会（深沢豊会長）は秋の全国交通安全運動の一環として、さまざまなキャンペーンを実施しました。夜間の高齢者事故が多発



鵜沢警察署員の説明を熱心に聞くお年寄りたち
＝増穂・ニス力株式会社駐車場

していることから、夜にはシールナイトスクール」も開催しました。スクールには増穂町の老人クラブなどから約七十人が参加。反射材を着用した場合の効果実験や、実際に自動車を走行させた交差点の巻き込み実験など体験型の交通安全教室を行いました。

同警察署が鵜沢保育所をチャイルドシール推進モデル保育所に指定。保護者を対象に着用の指導徹底を図りました。管内の各町ごとに街頭指導所も開設され、ドライバーらに安全運転を呼びかけました。

山梨高プラスバンド部 パレードで演奏を披露

○：日下部

日下部交通安全協会（中澤孝会長）は秋の全国交通安全運動初日、山梨市駅前周辺で啓発パレードを実施しました。街頭指導所も開設。ドラ



交通安全を訴えた啓発パレードの参加者
＝山梨市内

イパーらに飲酒運転防止チラシなど啓発品を配りました。パレードには安協や交通関係団体の役員ら約二百人が参加。駅前から山梨市役所までの市道約七百メートルを交通安全を訴えながら歩きました。オープンカーを先頭に山梨高プラスバンド部員が見事な演奏を披露。沿道から盛んな拍手を浴びていました。高齢者らも運動で新調された「シルバリーター」を着用し、事故防止を呼びかけました。

パレード後には、高齢者代表による「交通安全宣言」、日下部安協による「飲酒運転根絶宣言」も行われました。



笹子町で開かれた高齢者交通安全教室
＝大月市西部ふれあいセンター

三遊亭小遊三さんを迎え 交通安全フェスタ開催

○：大月

大月交通安全協会（山下道男会長）は秋の全国交通安全運動初日、シルバークリア交通安全フェスティバルを開催しました。

フェスティバルでは、大月市出身の落語家・三遊亭小遊三さんを一警察署長に迎え、市内の高齢者約五百人を前に交通安全にかかわる講演がありました。大月安協梁川支部の佐々木団支部長率いる「ちんどん屋」や、世界平和太鼓をもつ「紅富士太鼓」、大



一警察署長をつとめた地元出身の三遊亭小遊三さん

月保育園児らによる阿波踊りなども披露されました。参加したお年寄りには反射プレスレットが贈られました。同日には大月警察署前に街頭指導所も開設されました。また、期間中には大月市笹子町内では、地元

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691

届け！安全の願い



“甲州軍団”が出陣 交通安全誓い合う

勇壮に交通安全宣言する富士吉田署員ら
道の駅富士吉田

富士吉田

甲州軍団出陣一。富士吉田交通安全協会（渡邊日出男会長）は秋の全国交通安全運動に合わせて交通安全宣言大会を開きました。富士吉田警察署員らが武田信玄と二十四将の武者姿で登場、交通安全宣言を勇壮に行い、氣勢を上げました。

甲冑に身をかためた“武者たち”を含め安協や交通関係団体役員ら約300人が参加。武田二十四将による宣言の後、柔道有段者による講道館柔道の「古式の形」を奉納（写真下）、明見小金管バンドによる演奏などが行われ、参加者らが交通安全メッセージ付きの風船を大空高く上げました。

鎧武者たちの周りには「風林火山」と書かれたのぼり旗などもゆらめき、戦国ムードたっぷり。来年1月からは大河ドラマ「風林火山」の放映が始まることもあり、富士山、富士五湖を中心とする国内屈指の観光地ならではの演出に観光客らもしばらく足を止め見入っていました。

武者たちや関係者は宣言大会に先駆け、富士山五合目の小御嶽神社に参拝、交通安全祈願祭も行いました。

同安協は「向こう三軒両隣運動」も展開しています。「富士に誓おう！日本一安全安心まちづくり」をスローガンに住民がそれぞれ助け合いながら交通安全や防犯

に関心を深めあい、住みよい地域づくりを進めています。のぼり旗やプレート、チラシなどで運動の普及活動を行っています。



風林火山

も行き、高齢者の事故防止を呼びかけました。また、二回にわたってのべ四百十人が参加して街頭指導所も開設。管内の事業所を対象にした交通安全教室、交通安全コンクールの地区大会、交通安全祈願祭なども行われました。

啓発大会や実践学習

年間通じ活発に活動

○：南甲府

パレードや街頭活動 子どもたちが大活躍

○：塩山

塩山交通安全協会（内藤進会長）は秋の全国交通安全運動の一環として、パレードや飲酒運転撲滅宣言、街頭活動などを行いました。行事には子どもたちも出動、大活躍しました。

ら甲州市役所までの約五百メートルをパレードしました。市役所玄関前では幼児や市民代表による飲酒運転撲滅宣言も行われ、飲酒運転追放への意識高揚を図りました。アンパンマンや仲間たちも登場、寸劇を交えた交通安全教室も開催され、子どもたちは大喜びでした。通行車両のドライバーには園児たちから啓蒙品も手渡されました。

また、安全運動期間中には恒例の交通安全ゲートボール大会も行われ、男性六十歳以上

上、女性五十五歳以上が所属のクラブ二十八チーム、約二百人が熱戦を展開。参加者に対して、交通安全講話や交通安全を呼びかけるチラシ配布も行われました。

園児らが町内パレード

○：南部

南部交通安全協会（依田倉蔵会長）は秋の全国交通安全運動の一環として、地元の幼稚園児によるマーチングパレード「交通安全パレードin

南部」を展開しました。交通安全を呼びかける子どもたちのかわいらしい姿に沿道から盛んな拍手が寄せられました。

園児は南部みどりの幼稚園と南部町栄・睦合両保育所の十九人。交通安全宣言の後、南部町商店街と内船駅前をそれぞれパレードしました。

期間中には高齢者宅への訪問指導、高齢者交通安全教室

秋の全国交通安全運動初日

チャイルドシート着用

4保育所をモデル指定

○：南アルプス

南アルプス交通安全協会（功刀長夫会長）は秋の全国交通安全運動の一環として、シートベルト・チャイルドシート着用推進モデル保育所を指定、街頭指導を行いました。

市内の主要交差点六カ所に街頭指導所を開設、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

後部座席を含むシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底をめざし、日

にはハーレー愛好家グループの山梨ビッケの会メンバーらによる交通安全啓蒙宣伝パレードを展開。交通安全フェスタも開催し、昭和保育園の子どもたちによるマーチングバンドや林家ライス・カレー子による交通安全漫談なども行われました。

また、歳末の県民運動を前に、南甲府安協女性部（岡恵美子部会長）のメンバー十三人が県総合交通センターや県安協事務局、山梨自動車学校などを訪れました。県安協では説明がありました。自動車学校ではドライビングシミュレーション実践研修、県総合

ろ、子どもの送迎で出入りする機会の多い保育所をモデル保育所に指定することで着用率の向上と交通安全意識の高揚を図ることを

目的に実施しました。指定されたのは市内の四保育所。チャイルドシート着用を促す「桃太郎旗」やリーフレットなどが配布されました。指定保育所のうち

巨摩保育所では同安協女性部役

員や警察署員らが送迎の保護者に向けて直接シートベルト着用など交通安全を呼びかけました。

子どもたちによるマーチングバンド

○：南甲府警察署



パレードで交通安全を呼びかける園児たち



飲酒運転撲滅宣言を行う園児
いずれも甲州市役所前



「交通安全パレードin南部」でマーチング演奏を披露する園児たち
南

員や警察署員らが送迎の保護者に向けて直接シートベルト着用など交通安全を呼びかけました。



「交通安全」を呼びかける南アルプス安協女性部員ら
＝南アルプス市飯野の巨摩保育所

引越のことなら
まずお電話を！
まかせて安心

ISO 9001:2000 認証
松本引越センター
山梨営業所
TEL. 055-222-0222
0120-22-0222
中央市西新屋330-7



子どもたちによるマーチングバンド
○：南甲府警察署

なくせ！飲酒運転

県内各地で活発な運動

飲酒運転による悲惨な交通事故が相次いでいます。全国的に広がる飲酒運転撲滅の動き。山梨県内でも各地区安協が警

署と連携を強、秋の全国交通安全運動でも重点項目に掲げ、積極的な活動を展開しました。年末年始、忘年会や新年会で飲酒の機会も増えます。各地区安協、警察署も飲食店への協力を求めながら、飲酒運転撲滅へ全力を上げています。

日下部警察署管内の飲食店に配布されたミニチュア旗は力ワンターなどに掲げられるサイズで、やはり目立つように赤い地に白字で「飲酒運転根絶協力店」とくっきり書かれています。

また各地区安協でも飲酒運転撲滅は重点項目に位置づけられ、子どもたちやお年寄りらによる「飲酒運転撲滅宣言」飲酒運転の危険や追放を訴える旗やチラシなどが各地

区で作られるなど、県内全域に飲酒運転撲滅への気運が高まっています。道志支部(水越茂広支部長)は国道413号沿いの道志村役場前で地域住民の事故防止をはじめ、来村する観光客に対して街頭指導所を開設しました。

師会や理髪店などに贈りまし「シートベルト」「飲酒運転追放」と書かれ、運動初日から注文先の会社などに配達する弁当についても配食するに配られた「交通安全弁当」は信号の赤、青、黄の三色の車をかたどった弁当箱。式で約百個の風船をあげた地元の園児らにも配られ、大喜びでした。

都留交通安全協会(高部愛明会長)は都留警察署などととも「飲酒運転撲滅協力店」の垂れ幕二百枚を作製、同警察署管内の飲食店に配り、店先への掲示や飲酒したお客さ

んへ運転しないよう呼びかけてもらおうことを依頼しました。今後、同安協では管内のゴルフ場など飲酒が可能な施設に配布対象を拡大していくことにしています。垂れ幕は

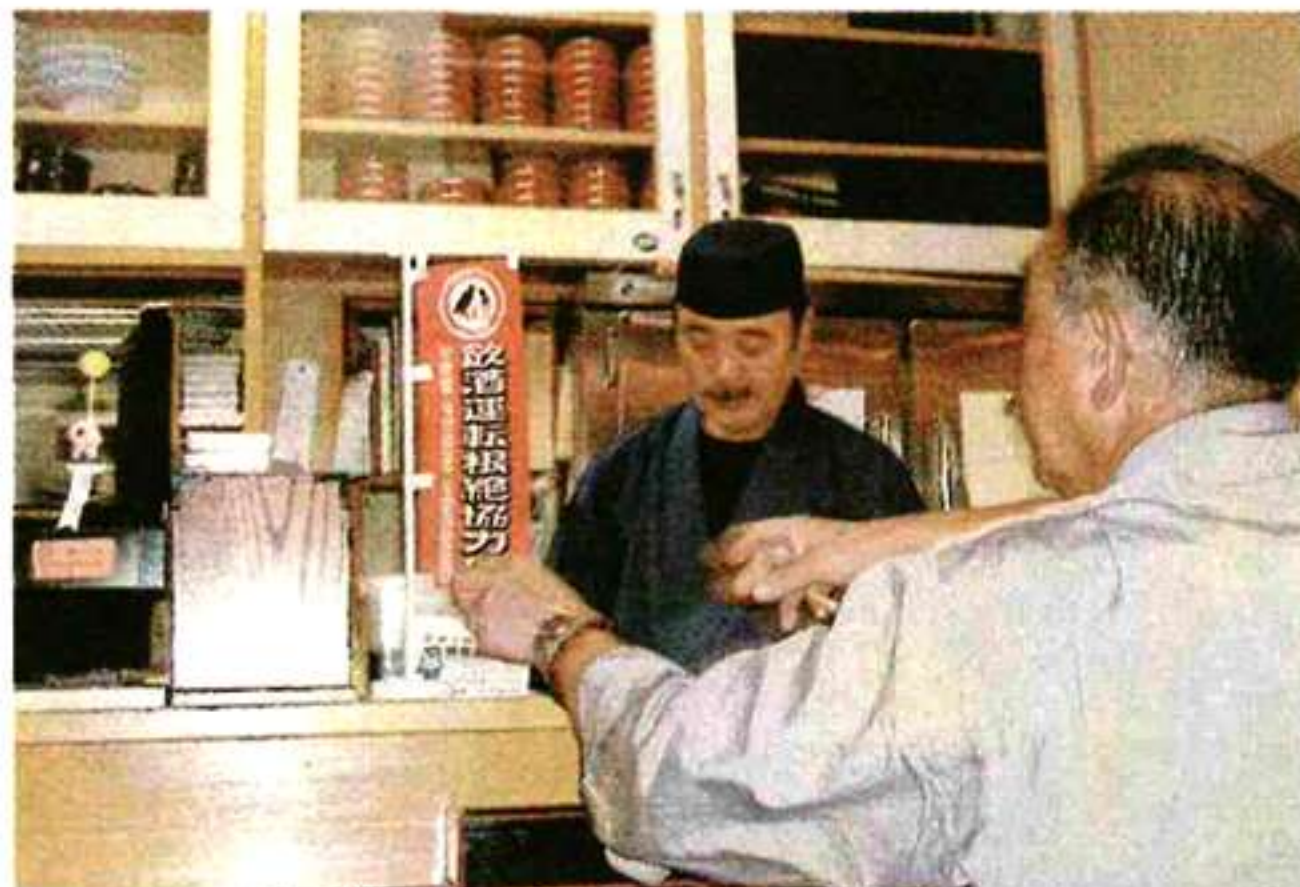
柱や軒先などにかげられるようなサイズで目立つように黄色い地となっています。日下部交通安全協会(中澤孝会長)は「飲酒運転根絶協力店」のミニチュア旗を作製。

都留交通安全協会(高部愛明会長)は秋の全国交通安全運動の一環として都留警察署などと連携してさまざまなイベントを展開しました。

市川交通安全協会(八木吉治会長)は秋の全国交通安全運動の一環として、市川警察署管内の弁当業者とタイアップをし、交通安全標語入りの割り箸袋二万袋を作製しました。運動初日の出発式では交通安全の箸袋を添えた「交通安全弁当」約二百食も登場、式典招待者らに振る舞われ



作製した垂れ幕を渡す都留安協会員 一部留警察署



日下部警察署管内の飲食店に配布されたミニチュア旗



都留自動車教習所 学科試験にチャレンジするお年寄りら

また、シューシヤイン(三足一組)や反射材活用のチラシ三千枚も作製、都留警察署管内の医

秋の全国交通安全運動初日の出発式で配られた「交通安全弁当」



マスコットを作製する上野原交通安全協会女性部員ら

女性部が大活躍

交通安全マスコットを作製

——上野原

上野原交通安全協会女性部(曾根智子部長)は交通安全普及活動の一環として、マスコット作りを行いました。秋の全国交通安全運動に配布するため毎年行っています。

マスコットは花の形をした大きなビーズや小さなビーズなどを使った色とりどりのかわいらしいもので、「運転は人に社会に思いやり」の標語も付いています。女性部メンバーは上野原警察署に集まり、約2時間かけ約300個のマスコットを作製、秋の全国交通安全運動期間中に実施した街頭指導所でドライバーらに配布しました。

安全への願い鈴にこめる

——都留

都留交通安全協会女性部(水越明子部長)は「交通安全祈願の鈴」(写真右)を作製しました。ラメ入りのヒモをボール状に巻いたものにかわいらしい鈴をつけています。女性らしく鈴をピニ



丸袋にやつひとつ丹念に入れ、中には黄地に黒字で「交通安全祈願の鈴 私達の手作りです」などと書いた紙を入れています。

女性部メンバーらは秋の全国交通安全運動期間中に同安協の飲酒運転撲滅作戦の一環として、買い物客やドライバーらに祈願の鈴を配りました(写真左)。同部は今後、来春の新学期児童に配布するマスコット作製に取り組むことにしています。

オオムラサキに託す「安全」

——長坂

長坂交通安全協会女性部(清水さゆり部長)は秋の全国交通安全運動の一環として、好評の「オオムラサキマスコット」を作製し、約1000個を長坂警察署に贈りました。運動期間中、街頭指導所などで配られました。

シートベルトの着用率 ダンプ車が5割と低迷

都留安協東桂支部調査

調査によると、着用率は富士吉田方面が加盟する団体へ着用を要す。請うることを検討して

都留交通安全協会(高部愛明会長)の東桂支部(志村英治支部長)は秋の全国交通安全運動の一環として、国道139号沿いの東桂小入り口付近でシートベルト着用の実態調査を実施しました。この結果、ダンプ車の着用率が五〇%程度と低いことが分かりました。

上り線が七八・二%と一〇%近く低く、双方方向の着用率は八三・二%でした。昨年の九七・九%に比べ、着用率が下がっていることが分かりました。また車両別では、乗用車はおおむね良好でしたが、ダンプ車の着用率は五〇%と大幅に低く、全体の着用率低下の大きな原因となっていました。今後はダンプ車を所有する会社などが加盟する団体へ着用を要すことを検討して

「交通安全」呼びかけ 多彩にイベント展開

○：・・・ 崎

「交通安全」呼びかけ
多彩にイベント展開
○：・・・ 崎
管内の巡回広報、市内の保育園・幼稚園、小学生を対象



登校時に子どもたちに黄色い羽根を配布する
＝荊崎市内

とした交通安全教室、管内のタクシードライバーに向けた講習会のほか、荊崎福祉の日記念祭りに交通安全コーナーを開設。盛りだくさんな内容で事故防止を訴えました。街頭指導所もJR荊崎駅前と道の駅にらさき前の二カ所に開設。ドライバーらに黄色い羽根や啓蒙品を配布しながら「安全」を呼びかけました。

啓蒙品も「交通安全」を明記したリーフレットやカークリナー、リストバンド、反射ボールとバラエティも豊かに安協役員らが配りました。地区別にきめ細かく交通安全運動を展開

○：甲 府



お年寄りに交通安全啓蒙品やチラシなどを配布する甲府安協羽黒支部員ら
＝甲府・山宮福祉センター

甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は秋の全国交通安全運動の一環として、甲府警察署管内の全域にわたって交通安全キャンペーンを展開しました。同安協羽黒支部(依田敏夫支部長)では自治会とも連携し、高齢者感謝の集いで出席者に対して交通安全啓蒙品や反射材がいたたすぎなどを配布。交通安全講話も行い、お年寄りの事故防止を訴えました。

北新小児童でつくる「北新交通安全少年団」は地元の北新駐在所前の交差点で、信号待ちのドライバーに隊員が書いた

「交通安全」を願う手紙を手渡しました。石田支部(深沢祐治支部長)では単位自治会別の高齢者交通安全ミニ講習会を継続的に行い、地域内の危険箇所などを紹介しながらきめ細かい安全運動を展開しています。

長坂交通安全協会(伊藤重忠会長)は秋の全国交通安全運動の一環として「高齢者地域交通安全推進リーダー」を委嘱、交通安全ゲートボール大会も開催しました。高齢者の事故防止、交通安全

交通安全運動

県内各安協の活動

交通安全母の会連合会 電動車イスの操作学が 山梨県が講習会

山梨県交通安全母の会連合会(鷹野和子会長)は十月三日、南アルプス市の県総合交通センターで「交通安全母親活動指導者講習会」を開催しました。

講習会は、県内の交通安全母の会会員の代表者を対象に、交通安全に対する意識の高揚を図り、各地域で交通安全指導者として活躍してもらうことを目的に開かれています。講習会には約五十人が参加しました。県警本部の職員



電動車イスの操作方法について説明を受ける山梨県交通安全母の会連合会メンバー
＝南アルプス・県総合交通センター

から「電動車イスの特性について」と題した講話や、電動車イスの操作方法の説明を受けた後、五グループに分かれて、実際に電動車イスに試乗しました。

地域の交通安全推進へ シルバーリーダー養成 山梨県

山梨県は十月十八日、南アルプス市の山梨自動車学校で交通安全シルバーリーダー研修会を開きました。

研修会は各地域で高齢者が率先して交通安全活動に取り組むシルバーリーダーの養成を目的に二年前から開催して



「高齢者地域交通安全推進リーダー」に委嘱されるお年寄りたち＝北杜市長坂町総合スポーツ公園ゲートボール競技場



「高齢者交通安全推進リーダー」に送られた
ワッペン

全意識の高揚を図るため、長坂警察署管内各地域から高齢者交通安全ゲートボール大会に参加する参加者全員を高齢者地域交通安全推進リーダーに委嘱しました。リーダーにはワッペンが交付され、ゲートボール大会後に全員で交通安全宣言、交通安全教室も行われました。リーダーには今後、各地域の交通安全推進の中心的な立場を担ってもら

や子どもや高齢者らを対象とした交通安全教室などを展開しました。街頭活動では、国道20号の県境付近に神奈川県警津久井署と合同で指導所を開設。シートベルトの着用などを呼びかけました。上野原高では生徒ら約五百人を前に交通安全講話、上野原幼稚園では約四十五人を対象にさちかせ号による交通安全教室をそれぞれ開きました。高齢者に向けては、上野原自動車教習所でお年寄りら約百人に参加。薄暮時間帯の危険性や早めのライト点灯の有効性などを分かってもらうとともに、教習所の道路を利用して夜間における反射材の効果を実際に体験する試みも行われました。また、母の会が中心となり高齢者宅を訪問、事故防止を直接呼びかけました。



教習コースに出て学ぶ交通安全シルバーリーダーたち＝南アルプス・山梨自動車学校

高い無事故率

早く優しい地元のための教習

山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689

普一、大型一・二、大特
けん引、自二
(合宿施設有)



上野原安協や上野原警察署が神奈川県警津久井署と合同で開設した街頭指導所
＝国道20号

神奈川県警と合同 県境に街頭指導所

○：上野原

上野原交通安全協会(和田博夫会長)は秋の全国交通安全運動の一環として街頭活動

街頭活動では、国道20号の県境付近に神奈川県警津久井署と合同で指導所を開設。シートベルトの着用などを呼びかけました。

上野原高では生徒ら約五百人を前に交通安全講話、上野原幼稚園では約四十五人を対象にさちかせ号による交通安全教室をそれぞれ開きました。高齢者に向けては、上野原自動車教習所でお年寄りら約百人に参加。薄暮時間帯の危険性や早めのライト点灯の有効性などを分かってもらうとともに、教習所の道路を利用して夜間における反射材の効果を実際に体験する試みも行われました。また、母の会が中心となり高齢者宅を訪問、事故防止を直接呼びかけました。

事故ゼロへの願い 体験通して熱弁

第48回山梨県中学生交通安全弁論大会



第48回山梨県中学生交通安全弁論大会で表彰される入賞者
—甲府・ニュー芙蓉

第四十八回山梨県中学生交通安全弁論大会（県警本部・県交通安全協会共催）が十月十二日、甲府・ニュー芙蓉で開催されました。審査の結果、山梨南中一年松儀紫さんの「心の油断」の無い社会」が優勝しました。

大会は中学生の目線で交通安全の問題を考え、体験を通じて得たこと、実践していることを主張することで、同世代の仲間や大人たちに伝え、交通事故防止を図ることを目的に開催されています。県内の十五警察署管内の地区大会で優秀成績を収めた十五人が出場。それぞれの体験から得たことや、飲酒運転が相次いでいることを受けて飲酒運転撲滅の訴えなど交通安全への思いを主張しました。持ち時

間五分で「論旨のわかりやすさ」「表現の適切さ」「発表の態度」などを基準に審査しました。

弁論内容については、「中学生交通安全弁論大会弁論要旨集」を発行、県内の中学校をはじめ、関係機関・団体に交通安全教育資料として配付しています。受賞者は次の通りです。

優勝弁論（県知事賞）

松儀 紫さん（山梨南中1年）



「武蔵いっつ」かすれた私の叫び声が、空しく、あたりに響きわたりました。私は、その瞬間を忘れることができません。それは昨年の出来事です。小学一年生の弟、武蔵と学校から帰る途中のことでした。武蔵は車の多い道だというのが、車道を挟み友達と追い駆けっこをしていま

「車が多いから危ないよ。」と言ってもそれを聞かず、追い駆けっこに夢中になっていました。そして、突然、車道に飛び出したのです。「危なああいっ」一瞬のうちに車は弟に衝突。歯が欠けて口から多量の血を流し、泣きじゃくる弟の姿が目に入ってきました。幸い弟の命は無事でしたが、その姿は今でも私の目に焼きついていきます。

昨年度の小学一年生の交通事故で負傷した人の数は六十四名。武蔵もその中の一人です。そして、驚くべきことに、中学一年生の数は八十一名。小学一年生より数が多いのです。これはどういふことなのでしょう。か。今まで私達は、様々な機会に「交通安全」について学習してきましたが

『心の油断』の無い社会

です。それなのに、数が増えているというところは、私達を取り巻く状況に原因があるのではなく、「私達自身」の心「問題がある」ということではないでしょうか。

私達の普段の生活を見ても、「ちょっとこれ位」「この位は大丈夫」「みんなやっているから」と、きまりを守ること、ルールを守ることに鈍感になっていないでしょうか。そんな私達の「心の油断」が、交通事故を

呼び寄せているのではないのでしょうか。警察の方はこんなお話をしてくれました。「交通ルールを破れば、事故の反動も受けなかったのですが、その時シートベルトをしていなかった私と弟の体は、衝撃に耐え切れず、ドアに向かって突進。シートベルトの大切さを身を持って知りました。事故に遭う可能性は、私達一人一人が抱えています。その可能性は少しでも「ゼロ」に近づける為に、「どんなに焦っている時でも、交通ルールを守

る心」が、必要なのです。武蔵は今、昔と同じように、いや昔よりも活発で元気です。昔と同じことに心から感謝しています。貴方の隣の人の「笑顔」を守る為に、いえ、全ての人の「笑顔」を守る為に、私達は「心の油断」のない社会を築いてゆきましょう。もう二度と、大切な人に血を流させないように。



参加者全員が見ている前で「安全運転」を披露するお年寄りたち

千頭和さんが優勝

高齢者自転車大会

団体は南部安協がV



真剣な表情でチェックポイントに臨む参加者
—いずれも南アルプス・県総合交通センター

第一回交通安全高齢者自転車大会（県交通安全協会など主催）が十月二十三日、南アルプス市の県総合交通センタ

「自転車体験コース」が開かれました。県警本部と県自転車商協同組合の協力を得て、地区で開催される交通安全教室などの指導者育成のため開かれています。県内の十五安協から四十八人が参加しました。自転車体

した。参加者は指導員の説明を真剣に聞き入っていました。参加者の一人は「早速、仲間や孫などにも教えて地域や家族で交通安全を考え、実践していくことにしたい」と話していました。

大会終了後には参加者全員に「高齢者交通安全リーダーク」を交付、成績上位の団体や個人を表彰しました。上位入賞の団体・個人は次の通りです。

◇団体▽優勝 南部安協（千頭和米男、小笠原修治、佐野利明）▽準優勝 富士吉田安協（小山田一夫、片桐忠加々見三千夫）▽第3位 長坂安協（中澤悠、進藤雄一、高柳一円）

◇個人▽優勝 千頭和米男（南部安協）▽準優勝 伊東信夫（甲府安協）▽第3位 駒井貞夫（笛吹安協）



自動車安全運転センター

安全運転中央研修所 研修のご案内

高度な運転技能・知識の習得や青少年運転者の資質の向上のための研修を実施しています。

- 実際の道路を再現したコースで安全運転のための実践的なトレーニングを行います。
- 一般の道路では経験できない運転上の危険な状況を実際に体験しながら、安全運転の基本と応用を身に付けることができます。

研修課程及び研修料金

研修課程	期間	研修料(消費税込み)(円)		
		二輪車	普通車	大型車
一般緊急自動車運転技能者	4日		82,000	
消防・救急緊急自動車運転技能者	4日		82,000	
安全運転実技指導員	5日		97,000	
安全運転管理者	5日		101,500	
貨物自動車運転者	4日		78,500	
旅客自動車運転者(バス)	4日		79,500	99,000
一般・企業運転者	4日		79,500	
同上	3日		51,000	
同上	2日	40,500	38,000	
同上	1日	20,500	18,500	
青少年運転指導者	4日	81,000	76,500	
青少年運転者	2日	20,500	21,000	
同上	1日	8,500	8,500	

注：青少年運転者課程は24歳以下の方などを対象としています。

中央研修所の見学

- 中央研修所の施設見学(無料)ができますが、予約が必要になります。
- 見学の予約をされたい方は、下欄の自動車安全運転センター山梨県事務所に電話又はファックスをお願いします。

研修のお申込み方法

- 研修の申込みは、個人でも団体でもできます。
- 研修希望者は、自動車安全センター各都道府県(方面)事務所、安全運転中央研修所又はセンター本部に電話で予約をしたうえ、研修申込書に必要事項を記載して、予約先に申込んでください。なお、研修申込書は、各都道府県事務所に備えてあります。
- 入所のしおり、振込用紙等必要な書類は、おおむね1か月前に郵送にてお届けしますので、案内書(入所のしおり等)に基づき研修料を振込んでください。
- お申込みの研修日程に変更が生じた場合には、ご連絡のうえ、調整させていただくことがあります。

自動車安全運転センター山梨県事務所
南アルプス市下高砂825 電話 (055)285-2345 http://www.jsdc.or.jp/
FAX (055)285-2951

県トラック協会



その視線の先に。

私たちが運んでいる物は、ただの荷物だけではありません。その荷物を持っていてくれるたくさんの人たちの、素敵な笑顔が待っているんだ、と思っています。

すでに、国内の輸送の9割がトラックによるもの。水道や電気と同じように、トラック輸送は日常生活に欠くことのできないライフラインの一つです。しかし、トラック業界は現在、相次ぐ規制によるコストの増加や止まらない燃料価格の高騰により、かつてない厳しい経営環境に直面しています。

だからこそ、自分たちでできる努力はぜんぶやろうと思います。たとえば、コストの削減効果だけでなく地球にもやさしい「アイドリリングストップ運動」や「低公害車の導入促進」そして「環境基本行動計画の策定」など、業界一丸となって取り組んでいます。さらに、急激なコスト増に対応する運賃の適正化についても業界として呼びかけ、アクションを起こしているところです。

道は決して平坦ではないけれど、視線の先には、たくさんの笑顔が待っているから、今日も私たちは、走り続けます。



安全輸送を心がけ 届けています 荷物も未来も環境も

(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)・(社)全日本トラック協会・後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局



AMS(自動車整備振興会)

◇整備技術の研鑽！ 自動車整備技能競技会を開催

自動車整備技術の更なる向上と整備士相互の連帯交流を深め、整備事業の公共性と業界の教育訓練、技能錬磨の姿勢を広く社会に示すことにより、業界に対する正しい理解と認識を高め、業界の健全な発展と自動車の安全確保及び環境保全に寄与することを目的として、10月28日(土)、第16回山梨県自動車整備技能競技大会を会場内で開催致しました。

この大会は、1チーム2名により13支部が出場し、12ヶ月法定定期点検整備の確実な実施、エンジンや電気系統等の故障探求等を実技で競いました。

白熱した競技が展開され、その結果、次のチームが入賞し、優勝チームは、本県代表として来年開催される全国大会に臨むこととなります。

《優勝》甲府南支部 荻原輝彦 望月太郎(㈱オートサービス)《準優勝》甲府北支部 井出鏡治(山梨交通㈱)長田義久(山梨交通㈱)《第3位》南アルプス南支部 樋泉政徳(樋泉自動車)津久井求(津久井モーターズ)



◇自動車整備工場では「子ども110番のお店」を展開！

当会の山梨県下860の自動車整備工場では、安全と安心なまちづくりに貢献する事業活動の一環として、犯罪や不審者による様々な危険等から、大切なお子様を守る緊急避難場所として「子ども110番のお店」を開業しています。

また、県下の小学校に出向き、全校児童を前に整備業界のマスコットキャラクター「てんけんくん」と「せいびちゃん」が、知らない人に声を掛けられた時には、「子ども110番のお店」に駆け込むようにと呼び掛けています。

今後は、新入学生への呼び掛けも計画しています。

お子様が困ったとき、危険を感じたときは、「子ども110番のお店」の看板を掲げた自動車整備工場をご利用下さい。

国が認めたAMS(アムス：会員工場の総称、Automobile Maintenance Serviceの頭文字)マークの自動車整備工場では、お子様の安全とお車の安全をお手伝い致します。



山梨県公安委員会指定
(財)山梨県交通安全協会立

山梨自動車学校

〒400-0202 南アルプス市下高砂847

- 全車種運転免許取得OK
学生割引 短期コース 安心コース等あり
- 高齢者講習実施中
- 土日祝日も休まず営業(但し年末年始を除く)
優秀なスタッフが親切丁寧に指導します
料金等詳細はフリーダイヤル

0120-915-752 まで

